

科目名	臨床治療学実習 I (理学療法)	担当教員	小林巧※ 小林匠※ 森野陽※ 伊藤俊輔※ 山中正紀※ 隈元庸夫※ 伊藤俊一※ 佐藤公博※ 富永尋美※ 久保田健太※ 世古俊明※ 信太雅洋※ 小川峻一※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------------	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	4年次	前期	8単位	実習

科目概要	臨床治療学実習 I では、実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する理学療法評価から治療プログラムの立案という一連の過程を実習する。リスク管理を的確に行いつつ、①評価結果および分析から統合解釈を行い対象者の全体像を把握する、②評価から治療計画の立案を行う、③基本的な評価手段が確実に実施できる、④一連の過程を適切に記録し、報告すること、これら4点の習得が目標となる。これらにより、対象者の障害について問題解決する理学療法士としての能力を実践を通して養う。
学習目標	① 評価結果および分析から統合解釈を行い対象者の全体像を把握する。 ② 評価から治療計画の立案を行う。 ③ 基本的な評価手段が確実に実施できる。 ④ 一連の過程を適切に記録し、報告する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	臨床実習 1	実習施設における実習 (第 1 週)	上記学習目標①～④	臨床実習 指導者
2	臨床実習 2	実習施設における実習 (第 2 週)	〃	臨床実習 指導者
3	臨床実習 3	実習施設における実習 (第 3 週)	〃	臨床実習 指導者
4	臨床実習 4	実習施設における実習 (第 4 週)	〃	臨床実習 指導者
5	臨床実習 5	実習施設における実習 (第 5 週)	〃	臨床実習 指導者
6	臨床実習 6	実習施設における実習 (第 6 週)	〃	臨床実習 指導者
7	臨床実習 7	実習施設における実習 (第 7 週)	〃	臨床実習 指導者
8	臨床実習 8	実習施設における実習 (第 8 週)	〃	臨床実習 指導者
評価方法		臨床治療学実習 I 評価表、実習を踏まえた本学での指導結果に基づいて総合的に判定する。		
教科図書		特に指定しない。		

参考図書	特に指定しない。
学習の準備	臨床治療学実習 I に臨むにあたって、これまでの学習内容を理解しておくこと。
オフィスアワー	随時
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	民間病院において、臨床実習担当の指導・監督の下、理学療法の実務を見学・体験させる。